

## 第1章 事業概要

### 1. 事業目的

沖縄県には、様々な外来種が侵入しており、在来生物の生息に多大な影響を及ぼしている。特に、生態系被害防止外来種リストにおける緊急対策外来種については、生態系へ著しく悪影響を及ぼすとされている。

外来種の侵入経路として、意図的な侵入と非意図的な導入がある。非意図的な侵入経路には、農林水産物や植木等の輸送に伴って侵入する経路とともに、近年、沖縄県で増加傾向にある観光客の移動とともに非意図的に侵入する経路も考えられている。そのなかでも、近年、観光客数や物流の増加傾向が見られる台湾等からのヒアリの侵入が懸念されている。

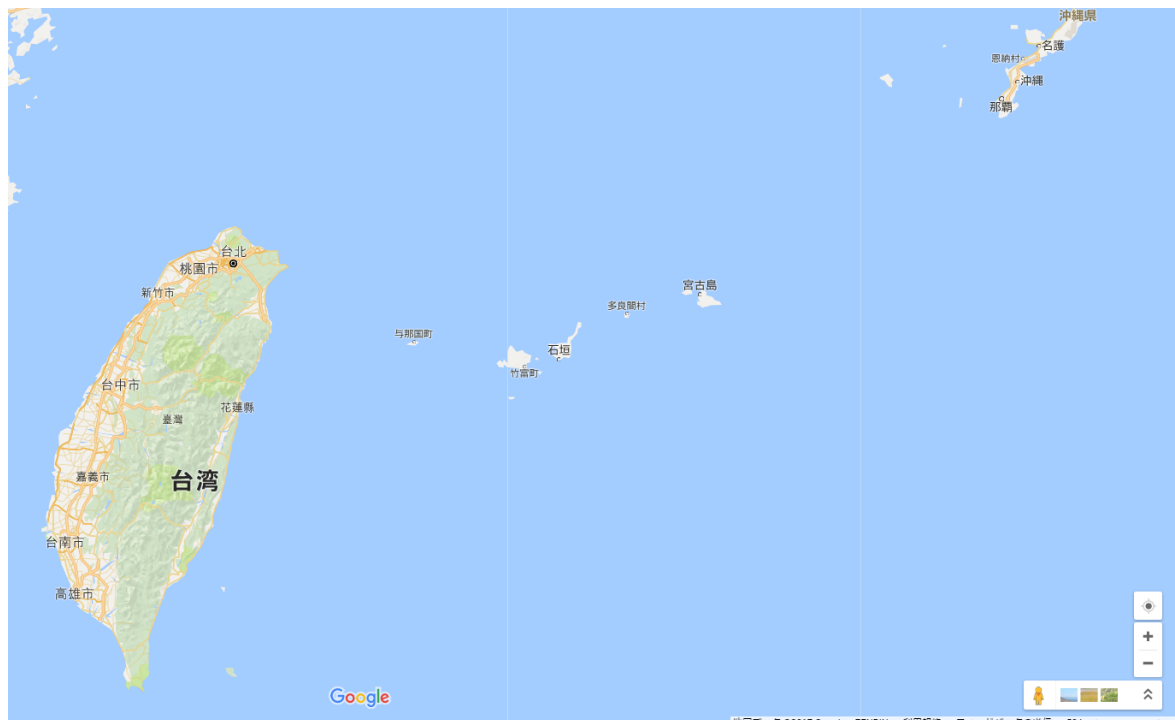
本業務では、ヒアリをはじめとした外来アリ類の早期発見技術の検討・開発を実施するとともに、侵入した際の有効な防除技術や初動体制を検討・確立することで、ヒアリ等の侵入による被害を防ぐことを目的とする。

### 2. 事業期間

平成28年11月8日～平成29年3月31日

### 3. 実施地域

沖縄本島、石垣島、ヒアリ等対策先進地（台湾等）



### 4. 実施体制

発注者：沖縄県環境部自然保護課

受注者：学校法人沖縄科学技術大学院大学

再委託者：一般財団法人沖縄県環境科学センター

## 5. 事業内容

本事業の内容を下記に示す。本事業は、ヒアリ等の監視技術・体制の確立と、防除技術・体制の確立の2つが大きな柱となる。この2つを達成するために、作業部会を設置し、またヒアリの分布域である台湾においてヒアリ対策状況等について視察を行った。

これらを取りまとめ、本報告書を作成した。

- (1) 外来アリ類（ヒアリ等）の監視技術・体制の確立
  - ① 有効なモニタリング手法
  - ② 同定技術の検討
- (2) 外来アリ類（ヒアリ等）の防除技術・体制の確立
  - ① 防除技術の検討
  - ② 初動体制の検討
- (3) 作業部会の設置・運営
- (4) 台湾におけるヒアリの生息及び対策状況
- (5) 業務実施結果の取りまとめ

### ヒアリ対策に係る成果概要

